

宇部市の花火大会について

(受付日：令和8年8月2日)

Q 宇部市の花火大会について、狭く建物に囲まれた現行の立地を見直し、営業終了後の山口宇部空港の沖合での開催を提案する。滑走路を開放して今までよりも多く花火を打ち上げ、広い空港広場での出店や広域からの呼び込みによる経済効果を見込みつつ、警察と連携した持ち物検査や厳重な警備による安全確保を前提として、来年の開催をぜひ検討して欲しい。

A ご提案の内容について、宇部市花火大会実行委員会に共有し、空港を所管する国等の関係機関にも確認いたしました。

その結果、空港およびその周辺での花火大会の開催につきましては、以下の理由から現時点では実現が困難であると判断いたしました。

まずは、空港という場所の特性上、航空法（第53条の禁止行為の規定）および関連する施行規則に基づき、航空機の航行の安全を確保するため、空港周辺の空域においては火気の使用や航空機に危険を生じさせるおそれのある行為が厳しく制限されています。花火の打ち上げはこれに抵触するため、全国の花火大会におきましても、同様の空港区域やその近接エリアで開催された事例はないと伺っております。

次に、山口宇部空港の運用終了時間が21時30分であるため、安全上、花火の打ち上げ等はすべての運用が終了した21時30分以降でなければ実施できず、大会の開始時間が大幅に遅くなってしまうという課題もあります。

法的な安全基準や運用上の制約、安全確保の観点を総合的に鑑みますと、現時点ではご提案の実現が難しい状況です。

本市の花火大会は、今回で第72回を迎え、国や県、港湾関係者のご協力や市内事業者のご協賛を得て開催を続けてまいり

ました。工場群を背景にした間近で迫力ある花火を大きな魅力と捉えております。

今後も安全で魅力ある大会づくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

観光スポーツ文化部 観光交流課